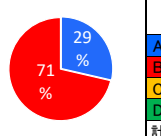
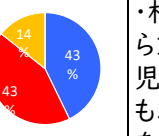
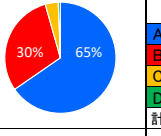
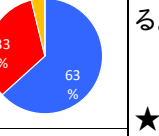
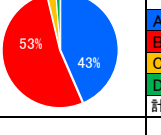
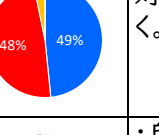
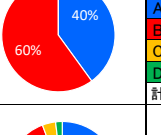
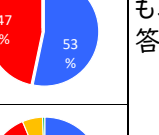
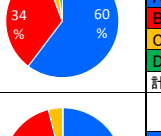
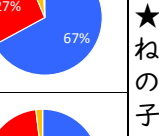
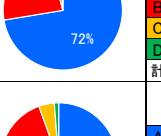
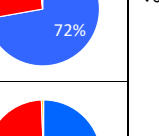
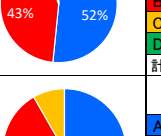
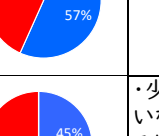
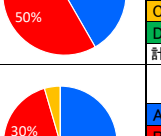
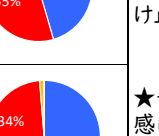
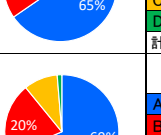
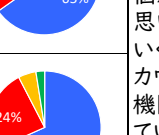
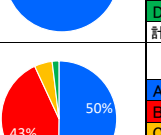
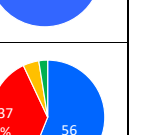
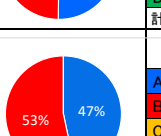
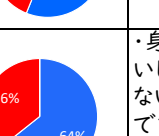
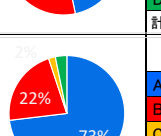
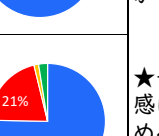
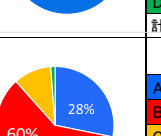
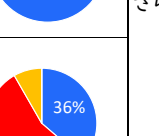
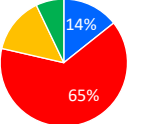
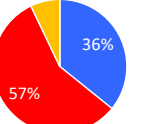
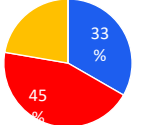
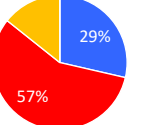
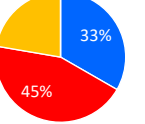
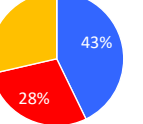
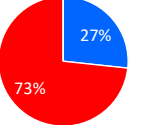
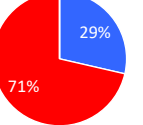
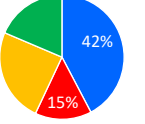
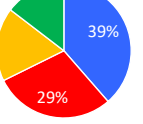
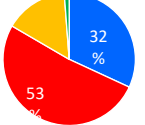
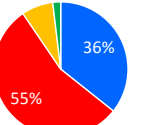
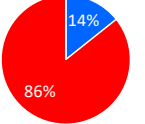
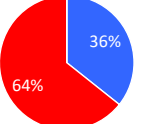
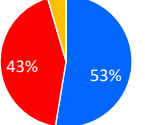
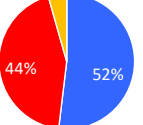
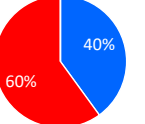
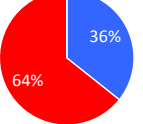
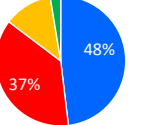
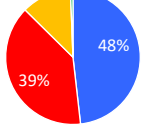
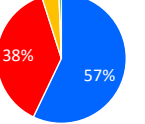
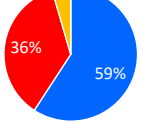


令和6年度 西 津 小 学 校 学 校 評 価 シ ー ト No.1

	重点目標	具体的取組	指標	評価の観点・目標指数	判断基準	***	%	前期評価	%	後期評価	成果・課題 改善策・向上策				
共に伸びる子	①伝え合う力・・・意思疎通 自分の考えを持ち、相手のことを考えながら伝えたり、聞いたりすることができる子	授業における対話を大切に、計画的に対話する場を設定する。相手の立場を考えながら対話することについて、各学級に応じた指導を行う。	取組	毎日の授業において、相手の立場を考えながら対話する場を設定する。	毎日の授業において、相手の立場を考えながら対話する場を設定しているか。 A 十分 設定している B ある程度 設定している C あまり 設定していない D 設定していない	教職員	A 28.6 B 71.4 C 0.0 D 0.0 計 100.0	A+B		A 42.8 B 42.9 C 14.3 D 0.0 計 100.0	A+B		・相手のことを考えながら対話していると答える児童が多かった。今後も、意識して対話する場を増やしていく必要がある。 ★話をしっかりと聞く場、対話する場を増やしていく。		
				【目標指数】A+B が 80%以上											
			成果	相手のことを考えながら対話することができる。	相手のことを考えながら対話していますか。 A している B どちらかといえば している C どちらかといえば していない D していない	児童	A 65.4 B 30.2 C 3.8 D 0.6 計 100.0	A+B		A 63.3 B 32.9 C 3.8 D 0.0 計 100.0	A+B				
		【目標指数】A+B が 80%以上													
		満足度	子どもは、相手の立場を考えながら対話することができたか。	お父さんは友だちのことを考えながら対話することができていると思いますか。 A 思う B どちらかといえば 思う C どちらかといえば 思わない D 思わない	保護者	A 43.5 B 52.8 C 2.5 D 1.2 計 100.0	A+B		A 48.4 B 48.4 C 3.2 D 0.0 計 100.0	A+B					
			【目標指数】A+Bが80%以上												
		②認め合う力・・・他者承認 自分と他者との違いを受け入れるとともに、他者の良いところや成長・頑張りに気づける子	お互いのよさを認め合う活動に、学年に合わせて取り組む。認め合う力や支え合う力を意識したふりかえりシートを活用し、日々の生活で意識できるようにする。	取組	児童に友達のよさを意識できるように、ふりかえりシートを活用し、学年に合わせたよさを認め合う活動に取り組む。	児童一人ひとりがたがいのよさを認め合うことができる取組に努めているか。 A 十分 努めている B ある程度 努めている C あまり 努めていない D 努めていない	教職員	A 40.0 B 60.0 C 0.0 D 0.0 計 100.0	A+B		A 53.3 B 46.7 C 0.0 D 0.0 計 100.0	A+B			・自分もまわりのみんなも、大切にできていると答える児童が多かった。 ★よさを認める取組を重ねていながら、学校での取組や子供たちの様子を保護者に伝えていく。
					【目標指数】A+Bが 80%以上										
				成果	学校や学級のみんなのよいところやがんばる姿を見つけることができる。	まわりのみんなのよいところやがんばる姿を見つけることができますか。 A できている B どちらかといえば できている C どちらかといえば できない D できていない	児童	A 60.3 B 34.0 C 3.8 D 1.9 計 100.0	A+B		A 67.1 B 26.6 C 5.7 D 0.6 計 100.0	A+B			
	【目標指数】A+B が 80%以上														
	成果			自分が学校や学級の中で、自他ともに大切にされていることを実感できる。	自分もまわりのみんなも、大切にすることができていますか。 A できている B どちらかといえば できている C どちらかといえば できない D できていない	児童	A 72.4 B 23.7 C 3.9 D 0.0 計 100.0	A+B		A 72.2 B 25.9 C 1.9 D 0.0 計 100.0	A+B				
				【目標指数】A+Bが 80%以上											
	満足度			子どもは、自分も他者もそれぞれ、よいところやがんばっていることがあることに気づき、みんな大切な存在だと感じているか。	お父さんは、自分も他者もそれぞれ、よいところやがんばっていることがあることに気づき、大切な存在だと感じていると思いますか。 A 思う B どちらかといえば 思う C どちらかといえば 思わない D 思わない	保護者	A 51.6 B 42.9 C 4.3 D 1.2 計 100.0	A+B		A 56.7 B 42.7 C 0.6 D 0.0 計 100.0	A+B				
				【目標指数】A+B が 80%以上											
	③支え合う力・・・協働 周囲の他者たちと仲間意識を持って繋がりを、お互いに協力することができる子	認め合う力や支え合う力を意識したふりかえりシートを活用し、シートを確認することで、自分や集団の成長を自覚できるようにする。	取組	各行事でふり返しシートを活用し、周りの人と協力することのよさについて考えたり、自分や集団の成長を自覚したりできる場を設定する。	各行事でふり返しシートを活用し、周りの人と協力することのよさについて考える場を設定することができたか。 A 十分 努めている B ある程度 努めている C あまり 努めていない D 努めていない	教職員	A 41.7 B 50.0 C 8.3 D 0.0 計 100.0	A+B		A 45.5 B 54.5 C 0.0 D 0.0 計 100.0	A+B		・少数ではあるが、協力できていない、楽しくないと思っている児童がいることを真摯に受け止め、取組む必要がある。 ★普段から児童の変化を敏感に感じ取り、必要なときには個別に話を聴くなど、児童の思いに寄り添った指導をしていく。必要な場合は、スクールカウンセラーなど、外部専門機関と連携し、指導に生かしていく。		
				【目標指数】A+B が 80%以上											
			成果	毎日の授業や行事で、友だちと協力することができたか。	毎日の授業や行事で、まわりのみんなと協力しながら取り組んでいますか。 A できている B どちらかといえば できている C どちらかといえば できない D できていない	児童	A 65.4 B 30.1 C 4.5 D 0.0 計 100.0	A+B		A 65.2 B 33.5 C 1.3 D 0.0 計 100.0	A+B				
				【目標指数】A+B が 80%以上											
			成果	学校が楽しいと感じる。	学校は楽しいですか。 A 楽しい B どちらかといえば 楽しい C どちらかといえば 楽しくない D 楽しくない	児童	A 68.6 B 20.5 C 9.6 D 1.3 計 100.0	A+B		A 68.3 B 24.1 C 5.1 D 2.5 計 100.0	A+B				
				【目標指数】A+B が 90%											
			満足度	子どもは学校が楽しいと感じている。	お父さんは学校が楽しいと感じていると思いますか。 A 思う B どちらかといえば 思う C どちらかといえば 思わない D 思わない	保護者	A 50.2 B 42.9 C 5.0 D 1.9 計 100.0	A+B		A 56.1 B 36.9 C 4.5 D 2.5 計 100.0	A+B				
				【目標指数】A+B が 80%以上											
			人権意識の涵養のため、身につけてほしい正しい価値観を共有し、その価値観を伸ばしていけるように、即時的・適時的なフィードバックを行う。		取組	子どもたちの日々の生活の様子から、人権意識を高めるためのフィードバックを即時的・適時的に行う。	子どもたちの日々の生活の様子から、人権意識を高めるためのフィードバックを即時的・適時的に行うことに取り組んでいるか。 A 十分 努めている B ある程度 努めている C あまり 努めていない D 努めていない	教職員	A 46.7 B 53.3 C 0.0 D 0.0 計 100.0	A+B		A 64.3 B 35.7 C 0.0 D 0.0 計 100.0		A+B	
	【目標指数】A+B が 80%以上														
	成果	日々の生活の中で、人権意識を高め、差別に対する正しい見方・考え方を身につけることができる。			身の回りの不公平なことやいじめに対し、おかしい、許さないという気持ちをもつことができていますか。 A できている B どちらかといえば できている C どちらかといえば できない D できていない	児童	A 73.1 B 21.8 C 1.9 D 3.2 計 100.0	A+B		A 75.3 B 20.9 C 1.3 D 2.5 計 100.0	A+B				
		【目標指数】A+B が 80%以上													
	満足度	子どもは人権意識を高め、差別に対して正しい見方・考え方を身につけたか。			お父さんは人権意識を高め、差別に対して正しい見方・考え方を身につけていると思いますか。 A 思う B どちらかといえば 思う C どちらかといえば 思わない D 思わない	保護者	A 28.2 B 60.2 C 10.4 D 1.2 計 100.0	A+B		A 36.3 B 55.4 C 8.3 D 0.0 計 100.0	A+B				
		【目標指数】A+Bが80%以上													

令和6年度 西津小学校学校評価シート No.2

	重点目標	具体的取組	指標	評価の観点・目標指数	判断基準	***	%	判定	前期評価	%	判定	後期評価	成果・課題 改善策・向上策
自ら学ぶ子	①自ら学ぶ力・・・基礎・基本の定着 各教科の内容を学ぶ中で、必要な資質・能力を習得することができる子	・ICT機器を効果的に活用した授業づくりをすすめるとともに、学期末テストを実施し、学力の定着を図る。 ・対話や振り返りを大切にしながら、児童が主体的に取り組める授業や場の設定を行う。	取組	児童が基礎的・基本的な知識や技能を定着させる手立てをとる。	ICT機器を積極的に活用した授業づくりを進めているか。	教職員	A 14.3 B 64.3 C 14.3 D 7.1	● A+B		A 35.8 B 57.1 C 7.1 D 0.0	◎ A+B		・算数は全校的に意識しているので、期末テストの結果も良好であった。 ・ICTの活用はDXを意識して取り組めるとよい。 ★主体的に取り組んでいる授業とはどのようなものか、児童の姿から具体的に考えられるようにする。
				【目標指数】A+B が 80%以上	D できていない	計	100.0	78.6		計	100.0	92.9	
			取組	学期末テストを実施し、学級平均80点以上をめざす。	学期末テスト(漢字)で学級平均は何点だったか。	教職員	A 33.3 B 44.4 C 22.3 D 0.0	● A+B		A 28.6 B 57.1 C 14.3 D 0.0	○ A+B		
				【目標指数】A+B が 80%以上	D 60点以下	計	100.0	77.7		計	100.0	85.7	
			取組	学期末テストを実施し、学級平均80点以上をめざす。	学期末テスト(計算)で学級平均は何点だったか。	教職員	A 33.3 B 44.4 C 22.3 D 0.0	● A+B		A 42.8 B 28.6 C 28.6 D 0.0	● A+B		
				【目標指数】A+B が 80%以上	D 60点以下	計	100.0	77.7		計	100.0	71.4	
			取組	児童が主体的に取り組める授業や場の設定を行う。	児童が主体的に取り組める授業や場の設定ができているか。	教職員	A 26.7 B 73.3 C 0.0 D 0.0	◎ A+B		A 28.6 B 71.4 C 0.0 D 0.0	◎ A+B		
				【目標指数】A+B が 80%以上	D できていない	計	100.0	100.0		計	100.0	100.0	
			成果	基礎的・基本的な内容(漢字・計算)がわかる。	期末テストでは自分でたてた目標を達成できましたか。	児童	A 42.3 B 14.7 C 24.4 D 18.6	● A+B		A 38.6 B 29.1 C 17.7 D 14.6	● A+B		
				【目標指数】A が 70%以上	D どちらもできなかった	計	100.0	57.0		計	100.0	67.7	
			満足度	子どもに国語や算数の基礎的な力(読み・書き・計算)が身についている。	お子さんは、学年に応じた国語や算数の基礎的な力(読み・書き・計算)が身についていますか。	保護者	A 31.9 B 51.5 C 15.4 D 1.2	◎ A+B		A 35.7 B 54.8 C 7.6 D 1.9	◎ A+B		
				【目標指数】A+B が 80%以上	D 身につけていない	計	100.0	83.4		計	100.0	90.5	
	②活用する力・・・情報活用課題を解決するために、身につけた資質・能力を活用することができる子	・身につけた力を他教科や行事等で活かせるようにカリキュラム・マネジメントを行う。	取組	児童が身につけた力を他教科や行事等で活かせるようにカリキュラム・マネジメントを行う。	教育課程全体を見通して、授業計画を立てることができているか。	教職員	A 14.3 B 85.7 C 0.0 D 0.0	◎ A+B		A 35.7 B 64.3 C 0.0 D 0.0	◎ A+B		★カリキュラム・マネジメントを行うには時間的な余裕が必要。年度初めのふるさとカレンダーが一つの指標となるので、丁寧に作成できるとよい。
				【目標指数】A+B が 80%以上	D できていない	計	100.0	100.0		計	100.0	100.0	
			成果	身につけた力を他教科や行事等で活かすことができる。	授業などで学んだことをほかの授業や行事等で使うことができますか。	児童	A 52.6 B 42.9 C 4.5 D 0.0	◎ A+B		A 51.9 B 43.7 C 4.4 D 0.0	◎ A+B		
				【目標指数】A+B が 80%以上	D できていない	計	100.0	95.5		計	100.0	95.6	
			取組	児童が興味関心を広げられる授業や場の設定を行う。	児童が興味関心を広げられる授業や場の設定ができているか。	教職員	A 40.0 B 60.0 C 0.0 D 0.0	◎ A+B		A 35.7 B 64.3 C 0.0 D 0.0	◎ A+B		・どの項目もABは目標を達成することができた。
				【目標指数】A+B が 80%以上	D 努めていない	計	100.0	100.0		計	100.0	100.0	
			成果	興味関心をもって自主学習や読書に取り組むことができる。	やってみたい、知りたいと思って自主学習や読書に取り組むことができますか。	児童	A 48.1 B 37.2 C 12.1 D 2.6	○ A+B		A 48.2 B 39.2 C 12.0 D 0.6	○ A+B		★学級で取り組んだり、委員会で啓発するなどすると向上するかもしれない。興味関心を広げられる授業や場の設定を行う。
				【目標指数】A+B が 80%以上	D できていない	計	100.0	85.3		計	100.0	87.4	
			満足度	自分の興味・関心のあることについて、主体的に取り組むことができる。	お子さんは自分の興味・関心のあることについて意欲的に取り組んでいますか。	保護者	A 57.1 B 38.0 C 4.3 D 0.6	◎ A+B		A 59.2 B 36.3 C 4.5 D 0.0	◎ A+B		
				【目標指数】A+B が 80%以上	D 取り組んでいない	計	100.0	95.1		計	100.0	95.5	

令和6年度

西津小学校学校評価シート

No.3

チャレンジする子

	重点目標	具体的取組	指標	評価の観点・目標指数	判断基準	***	%	判定		前期評価	%	判定		後期評価	成果・課題	改善策・向上策											
チャレンジする子	①挑む力・・・自信 自信を持っていろいろなことに興味を広げてやってみることで、喜びと達成感を感じ取ることができる子	運動面や学習面において個人が目標を立てて挑戦する「チャレンジ!」の取り組みを各学級で設定し、がんばりの様子を見える化したり、振り返らせたりすることにより、児童が達成感を味わい、より高い目標にチャレンジできるようにする。	取組	教員は、児童が自分にあった目標を立てられるように話し合ったり、考えたりする時間を設けた。	児童が自分にあった目標を立てられるように、話し合ったり、考えたりする時間を設けているか。	教職員	A	41.7	◎	A+B	計	91.7	◎	A+B	計	93.3	・教職員と児童が一緒になって目標を設定したり、教職員が児童に寄り添って、目標を定める取組ができている。 ★学習活動の目標設定のためには、振り返りの時間を充実させ、日常的に振り返りをもとに目標設定できるよう指導していく。										
				A 十分 できている	B 50.0		C 8.3	D 0.0										A	40.0	B 53.3	C 6.7	D 0.0					
				【目標指数】A+B が 80%以上																							
			成果	児童は、学習活動や学校行事に対して自分にあった目標をたてることができた。	学習活動や学校行事では、自分にあった目標を立てることができていますか。	児童	A	56.4	B	37.2	C	3.8	D	2.6	A	62.1		B	33.5	C	4.4	D	0.0	A	62%	B	34%
				【目標指数】A+B が 90%以上																							
			満足度	自分で目標をたてて、学習活動や学校行事に取り組むことができた。	お子さんは、学習活動や学校行事に目標をもって取り組むことができていますか。	保護者	A	39.3	B	49.6	C	8.6	D	2.5	A	42.7		B	51.6	C	5.1	D	0.6	A	43%	B	52%
				【目標指数】A+B が 80%以上																							
	②高める力・・・向上心 自分でみつけた目標のために取組、次の課題や目標をみつけることができる子	1年間の長期目標を立て、年間を通して自分の立ち位置を意識させるようにする。学校行事等で自己をふり返る際には、長期目標を達成する為に何が必要かを洗い出し、次への課題や目標を見つけられるようにする。	取組	教員は、児童が自分にあった目標を立てたり、ふりかえったりできるように、見通しをもって取り組ませることができた。	育てたい児童像を意識しながら、目的意識や見通しをもって取り組ませることに努めているか。	教職員	A	53.3	B	46.7	C	0.0	D	0.0	A	46.7	B	53.3	C	0.0	D	0.0	A	47%	B	53%	
				【目標指数】A+B が 80%以上																							
			成果	児童は、自分にあった目標をたて学習活動や学校行事に取り組み、自分の成長や課題を実感することができた。	目標に向かって取り組み、自分自身の成長や課題について振り返ることができましたか。	児童	A	53.8	B	36.5	C	8.4	D	1.3	A	58.8	B	32.3	C	8.9	D	0.0	A	59%	B	32%	
				【目標指数】A+B が 80%以上																							
			満足度	自分で課題を見つけ、解決に向けて取り組むことができた。	お子さんは、学校生活で課題を見つけ、解決に向けて取り組んでいると思いますか。	保護者	A	15.3	B	57.1	C	22.1	D	5.5	A	24.8	B	52.9	C	21.0	D	1.3	A	25%	B	53%	
				【目標指数】A+B が 80%以上																							
③あきらめない力・・・根気 失敗しても気持ちを切り替え繰り返し、あきらめずに最後までやりきることができる子	教育相談、学級力アンケートを活用し、学級の状態を児童に明示することで、チャレンジしやすい学級づくりを行う。	取組	教育相談やアンケートの結果を学級づくりに活用した。	教育相談やアンケートの結果を学級づくりに活用するように努めているか。	教職員	A	33.3	B	66.7	C	0.0	D	0.0	A	54.5	B	45.5	C	0.0	D	0.0	A	54%	B	46%		
			【目標指数】A+B が 80%以上																								
		成果	失敗してもあきらめずに最後までやりきることができた。	失敗してもあきらめずに最後までやりきることができていますか。	児童	A	74.3	B	20.5	C	2.6	D	2.6	A	76.0	B	20.9	C	2.5	D	0.6	A	76%	B	21%		
			【目標指数】A+B が 80%以上																								
		満足度	失敗してもあきらめずに最後までやりきろうとしていた。	お子さんは、学校生活で失敗してもあきらめずに最後までやりぬこうとしていますか。	保護者	A	25.1	B	62.0	C	11.7	D	1.2	A	33.8	B	56.7	C	8.9	D	0.6	A	34%	B	57%		
			【目標指数】A+B が 80%以上																								

令和6年度 西津小学校学校評価シート No.4

	重点目標	具体的取組	指標	評価の観点・目標指数	判断基準	***	%	判定		前期評価		%	判定		後期評価	成果・課題 改善策・向上策									
ふるさと大好きっ子	①ふるさとを愛する心 ふるさと小浜・西津をさらに好きになる子	・生活科・総合的な学習の時間を軸に、系統的な「ふるさと学習」を通じて、西津の歴史・文化・産業・人々について調べ、「ひと・もの・こと」との出会いの場面を多く持つことにより「西津が大好き」と思える児童を育てる。	取組	生活科や「いさりび」の時間に、地域素材との出会いの場を積極的に取り入れ、児童のふるさとへの愛着がさらに高まる学習を展開した。	生活科や「いさりび」の学習では、地域素材との出会いの場を積極的に取り入れ、児童のふるさとへの愛着が高まる学習を展開できているか。	教職員	A	50.0	◎	A+B		A	66.7	◎	A+B		・地域素材との出会いを大切にしたカリキュラムを展開できしており、ふるさと学習の内容についても保護者の理解度が高まったと言える。 ★「地域の人・もの・こと」に出会えるような学習を積極的計画する。外部交流を積極的に取り入れて発信できる機会を今後も確保する。今後も継続した情宣活動や児童のポートフォリオを保護者に見て頂く。								
				【目標指数】A+B が 80%以上	D		0.0	C				0.0	B					33.3	D	0.0					
							計	100.0										計	100.0						
				成果	児童は、「ふるさと西津（小浜）の自慢」を相手に説明できる。		ふるさと西津の自慢を相手に説明できていますか。	児童				A	37.2					○	A+B		A	49.4	○	A+B	
							A					44.9	B								39.2				
					B	14.1	C		7.0																
					C	3.8	D		4.4																
				【目標指数】A+B が 90%以上	D	100.0	計	100.0			計	100.0													
			満足度	子どもは、生活科や「いさりび」の時間の活動を通して、西津の良さを見つけている。	生活科や「いさりび」の学習で、お子さんが学んでいるふるさと学習の内容について理解していますか。	保護者	A	25.2	●	A+B		A	35.0	◎	A+B										
					A		50.9	B				56.7													
	B	19.6		C	5.1																				
	C	4.3		D	3.2																				
	【目標指数】A+B が 80%以上	D		100.0	計		100.0						計				100.0								
ふるさと大好きっ子	②ふるさと西津を元気にする力 人・もの・ことと関わりながら、今より深くふるさとについて考えることができる子	・児童の思考の流れや、探究サイクルを意識したストーリー性のある年間計画を立案する。 ・シルバーカフェ」やゲストティーチャーを招いた学習を通して、地域の方の西津への思いを聞き取り、地域をより良くしていきたいという気持ちを高めさせる。 ・積極的に地域に足を運び、地域の現実や願いに即した課題を設定し課題解決していく中で、探究する楽しさを味わえるようにする。	取組	地域の現実や願いを大切に、児童の思考の流れや、探究サイクルを意識したストーリー性のある学習を展開し、持続可能な社会の実現に向けて児童の考えが深まる学習を行った。	ふるさと学習カレンダーをもとに、探究サイクルを意識したストーリー性のある学習を展開し、得た知識をもとにさらに児童の考えが深まる学習を行っているか。	教職員	A	33.3	○	A+B		A	44.4	◎	A+B		・児童の考えが深まる探究サイクルを踏まえたふるさと学習を展開することができた。ふるさとでの学びを自分事として考え行動できる児童が増えた。 ★学んだことを自分事として捉え、何ができるのかを考え行動に移せるような学習活動を実践する。 学んだことや気持ちの変容を必ずポートフォリオとして残していく。								
				【目標指数】A+B が 80%以上	D		0.0	C				11.1	B					55.6	D	0.0					
							計	100.0										計	100.0						
				成果	児童は、西津をより良くするために、自分にできることを考えて行動できる。		ふるさと西津をより良くするために、自分にできることを考えて行動できていますか。	児童				A	47.4					○	A+B		A	60.8	◎	A+B	
							A					40.4	B								34.8				
					B	8.3	C		3.8																
					C	3.9	D		0.6																
				【目標指数】A+B が 80%以上	D	100.0	計	100.0			計	100.0													